

(株)ナビタイムジャパン 高精度測位社会実証実験 成果報告

2017年3月14日

サービス開発部 マネージャー
植竹 広佑



NAVITIME

■ サービス概要

ドアtoドアの最適な移動経路を探索し、
音声ナビゲーションなどによりユーザーに
「迷わない」という安心を提供

■ 屋内地図に関するサービス実績

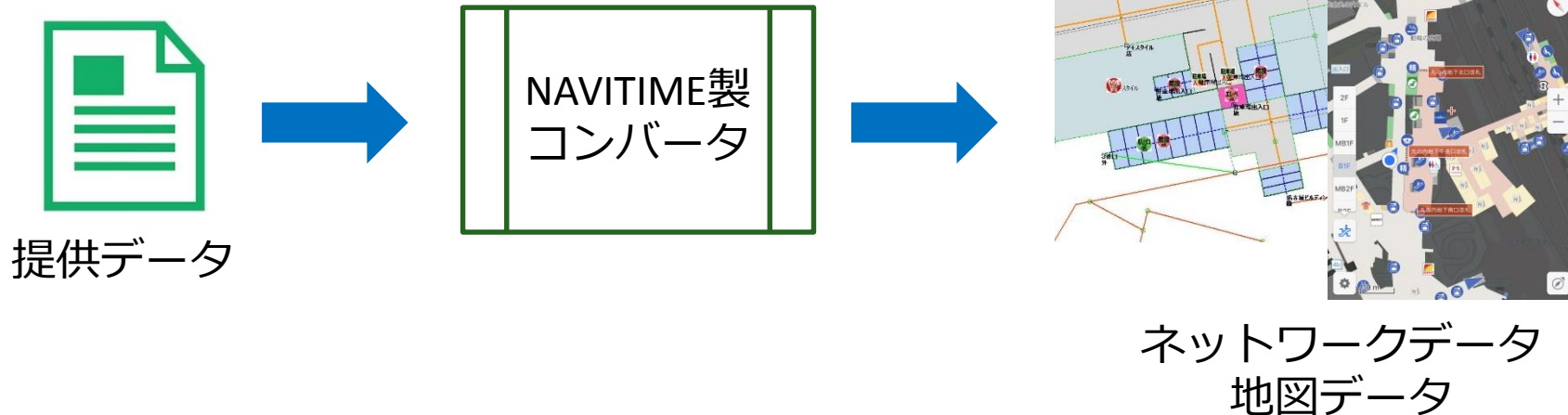
2014年に「屋内ルート案内」の機能をリリース
主要駅を中心に30エリア以上の屋内地図に対応
※音声ナビゲーションは提供していません



【実験観点】

1. より正確な地図を提供することが可能となるか
 - － 地図の精度の確認
 - － 導入/運用コストの確認
2. 屋内測位の提供可能性
 - － 測位精度の確認

■地図の作成(デスク作業)



■地図/測位精度の確認(実地作業)

作成した地図を用いて、
実際の位置と、測位された位置情報を確認



アプリケーション

1.より正確な地図を提供することが可能となるか

○ 精度は良い(コンバートしても問題ない)

✕ 屋内の商業施設など、欲しい情報に不足がある

✕ 改札内情報まで網羅されていない

✕ ネットワークの階層が分かれていないため、コンバート処理に手間がかかる

★ 今後への要望(実際にサービス導入を行うためには)

ー 各データの拡充

(商業施設/店舗の情報、ホームなど改札内の情報)

ー ネットワーク階層の分離

ー 定期的なメンテナンス(理想的には毎月など)

■ 総括

現状ママのデータではこれだけで即サービス導入とするのは難しいが、
地図/現状地図の更新確認など、運用の改善には活かせる。

また、データの拡充/提供形式の改善などが行われれば、
十分にサービス導入の可能性を感じるものであった。

2. 屋内測位の提供可能性

- おおよその位置を知るためとしては及第点の精度
- ✕ ナビゲーションとして利用するには精度が低い
- ✕ 対応エリアが狭い(改札内などはNG/改札外も一部)

★ 今後への要望(実際にサービス導入を行うためには)

- － 精度向上
- － 対応エリアの拡大
 - 特に、ホーム含め改札内
- － 継続的な設置の確約

■ 総括

ナビゲーションを実現するためにはまだまだ精度に難ありだが、おおよその位置だけでも示したいという要望には応えられる可能性を感じた

今後、対応エリアの拡大と継続的な運用が行われるのかが最も重要となる